

2017年8月28日  
発行/日本共産党市議団地域版  
自宅/市川市須和田2-12-3  
(住所変更しました)  
携帯 090-6310-3294  
shimizu@jcp-ichikawa.com  
ブログ  
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

# 清水みな子

あおぞらメール No.103



公営ギャンブル  
券売り場設置

## 経産省に「認可しないで」と要請

### 斉藤和子衆院議員と「反対する会」



斉藤和子衆院議員（左から2人目）と  
要請する「反対する会」メンバー

JR本八幡駅南口にあるパチンコ店の階上に、公営ギャンブル場外券売り場を設置する計画をめぐって、住民の皆さんと一緒に「ギャンブル券売り場に反対する会」を立ち上げて、反対運動に取り組んでいます。

7月10日、「ギャンブル券売り場に反対する会」は、日本共産党の斉藤和子衆院議員を紹介議員に、経済産業省に「認可しないでほしい」と要請にいきましました。経産省が公営ギャンブルのうち、競輪とオートレースの認可省庁ということです。

当日は担当者に要請書を手渡し、場外券売り場設置に反対する声を届けました。「市川市は住宅都市、文教都市であり歴史のある都市に公営ギャンブルの場外売り場はいりません」「町の雰囲気も変わるし、近隣には文教施設もたくさんあり、子どもたちへの影響が心配である」「市川の街づくりにはふさわしくない」「ギャンブル依存症の対策も取られていないのに、公営ギャンブル券売り場はいらぬ」と訴えました。

担当者からは開設までには、様々な手続きが必要で、周辺自治会の同意も必要だが、競輪場がある千葉市か松戸市の確定も



JR本八幡駅南口パチンコ店の階上

必要であること、地元警察・消防との協議も必要であることも話されました。私たちは、住民には知らせていない、知った住民は反対をしていることなど、訴えました。

### 認可する関東経産局にも要請

8月10日には、設置者から許可申請を受け取り認可をする関東経済産業局に要請しました。「地元の合意」について問うと、担当者は「会長が合意しても書類が整っていないからOKとはならない。信ぴよ性は確認する。プロセスが大事だ」と語りました。また、駅周辺

には文教施設が多くあり、本八幡駅には3つの路線（JR、京成、都営）があり、ここを使用しているすべての文教施設が対象になる、という話もありました。

### 「会」では小中 高校へ申し入れ

「会」では、チラシを作成し、南八幡地域への全戸配布、市議会への請願署名に取り組んでいます。また、本八幡駅1駅圏内の小中学校・高校へ申し入れを行いました。券売り場の設置計画があること、文教都市にふさわしくないこと、児童・生徒たちへの影響も心配であることなど、署名の協力を訴えてきました。PTA役員にも要請文とチラシ、署名用紙を送付し、協力を呼び掛けてきました。いくつか署名が返送されています。

「会」では、新チラシを作成し署名のさらなる促進をはかることにしています。ギャンブル券売り場を作らせないためご協力をお願いします。

# 市川の未来を語ろう

## 市長選挙（11月26日投票）に向けて



7月29日午後、市政を語る実行委員会が主催する「ワークシヨップで語る 市川の未来」が開かれました。この間、市政を語る実行委員会は4月に、茨城県知事候補だった田中重博さん（茨城大学名誉教授）を講師に招き、「地方自治体とはどうあるべきなのか」学習会を行いました。その後、数回の実行委員会を開き、今回のワークシヨップの開催となりました。

約80人が参加し、グループごとに、話し合いが持たれました。共通するのは、いまの市政は問題だらけ、市長を変えたいという一点。高齢者福祉、子育て支援、道路の改善、景観・環境問題など、活発な討論が繰り広げられ、各グループごとにまとめた報告がありました。

参加者からの発言では「早く候補者を決めてほしい」「時間がない」「様々な問題を共有したい」などがあり、実行委員会は、次回から候補者を選考する会議を開くので、参加してほしいと呼びかけました。

# 市政アンケート1200通 市民の要望がぎゅっしり



今年の市政アンケートは、例年より2カ月早く実施しました。11月に市長選挙があり、市政へのご意見をたくさんいただくことにしているからです。昨年の950通を超えて1200通の回答がありました。

主な意見として、子育て支援では、保育園の増設、医療費の窓口負担ゼロ。介護制度では、保険料・利用料の引き下げ、介護従事者の処遇改善。市政に望むことのベスト5は、高齢者福祉の充実、国保税の軽減、自転車のマナー対策、待機児童の解消、公共料金の引き下げと続きます。

地域の要望は、地域ごとにまとめて、市に対して要望書を提出することになっています。

## 無料法律相談

◎9月12日（火）

担当 白井幸男弁護士

◎10月10日（火）

担当 高橋 勲弁護士

午後2時から5時まで

相談時間はひとり30分

予約は清水または控え室。

千葉日報8月26日付で「大久保市長は今期限りで引退する」と報道されました。保守会派が慰留しても、その意思は固いということですね。

## 《主な活動報告 7月》

### ★7月8日 映画「母」上映会に400人

小林多喜二の母を描いた「母」の上映会が開かれました。私もチケットを普及してきました。戦前の治安維持法と言われる共謀罪が強行可決



され、多喜二の生きざまと家族や母とのきずきを描いた映画です。今年85歳になる山田監督も駆けつけて挨拶。「二度と戦争はダメ」その思いを伝えたいと。

### ★7月16日 市後援会のバスツアー

今年は日帰りバスツアーを行いました。東日本大震災で津波の被害を受けた旭市と銚子市を訪ね、銚子漁港では買い物も楽しみました。銚子電鉄にも乗車。団体で申し込みをしたので、「犬吠」駅で降りるときに

「日本共産党市川市後援会の皆さま、ここでお降りください」とアナウンス。大勢のお客さんが乗っていましたが、すがすがしい気分になりました。

### ★7月25日 市川市内を平和行進

今年はメディアパークの広場から出発しました。被爆者の皆さんの挨拶、市長のメッセージの代読、記念式典に参加する代表（若者、親子連れの参加がありました）の挨拶と続きました。

近くの杉の木保育園の園児が、手に手に折り紙やペナントを持って歩いてきて、実行委員長に手渡しました。江戸川に引き継ぐために、市川橋まで歩いて、平和を訴えました。

